

平成29年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番号	9	学校名	西和養護学校
----	---	-----	--------

1. 取組名 桜ヶ丘・下牧地区、美化つながりプロジェクト

2. 活動内容

(1)活動の位置づけ

「桜ヶ丘・下牧地区、美化つながりプロジェクト」は「流通サービス」の授業に位置付けている。「流通サービス」の授業は、本校が開校して5年目の平成23年4月から行っている。授業の目標の一つに、「働く中で自己実現していくために、模擬販売や清掃等に関する実習を通して、社会との基本的なつながりを知り、他者から認められ感謝される仕事ができるようになる。」を掲げている。この目標の中にある、「…実習を通して、社会との基本的なつながりを知り…」とあるように、授業では、校内だけでなく校外で活動することや、地域とのつながりを大切にしていきたいと考えていた。

「桜ヶ丘・下牧地区、美化つながりプロジェクト」は、この「流通サービス」の授業の取組である。

(2)取組の概要

高等部2年生と3年生の黄グループの流通サービスは、靴下のループ（輪）を使って『椅子脚カバー』や『アクリルタワシ』を手作りする活動と、靴箱掃除や箒の毛かき掃除の清掃活動を行っている。2学期には学校周辺の道路の落ち葉清掃や学校のある下牧地区や桜ヶ丘地域の環境美化にも役立つことができたと活動している。2年生は2学期に3回、校外での清掃活動を行った。（写真右上）



桜ヶ丘3丁目溝清掃

高等部3年生の赤グループは、スクイジーを使った窓清掃の技術習得を経て、学校の近くにある上牧幼稚園や本校に隣接する上牧第3小学校で、窓掃除を行っている。清掃作業を通じて社会に貢献できることを体験し課題を見つけることで、自信をつけるとともに卒業後の就労に向けての準備を行っている。上牧幼稚園には6月に1回10月に2回、上牧第3小学校には7月と11月、2月の3回出かけて活動を行った。（写真右下）



上牧第3小学校の窓清掃⇒

3. 成果と課題

3年生は就労先を選択するための現場実習に取り組んでおり、それぞれの現場実習を経験したうえで、上牧幼稚園での清掃活動を通じてさらに感謝してもらっている。上牧第3小学校では本校の生徒が高学年の児童にスクイジーを使った清掃作業を指導する機会もあり、子どもの目線に立って丁寧にやさしく指導することが、回を重ねるごとに上手になり、さらに高等部の生徒の自信につながっている。活動を通じてコミュニケーションの力をつけることが大切である。校外での活動は、校内の学習を補完し発展させる形で取り組めた。社会への参加活動を通して、「不安や緊張するけれど、やればできる達成感と自信とがつく」経験を今後も積み上げさせたい。

4. 次年度に向けて（担当者の感想を含む）

今年度は準備不足で、桜ヶ丘・下牧地区の清掃活動を地域の方と一緒に活動することはできなかった。次年度は、地域の方と一緒に活動できる内容を考えて取組を展開していく事が課題である。

次年度に向けては、桜ヶ丘・下牧地区の清掃活動は継続しつつ本校で取り組んでいるアクリルタワシづくりを、学校を出て地域の集会所のような場所を借り、地域の方にも協力いただいて、地域の方と本校の生徒と交流する中で製作したいと考えている。